

## 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する公開情報

研究機関名：筑波メディカルセンター病院

倫理審査承認日： 2023年6月7日
研究課題名：脳室ドレナージ術における穿刺長、理想的な穿頭位置に関する画像解析 研究期間：倫理審査承認後～西暦 2023年9月30日
研究対象： 2022年10月以降の頭部単純CTを撮像した症例
対象材料 <input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名                    ） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名                    ） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 ■その他（頭部単純CT画像） 上記材料の対象期間 西暦 2022年10月～ 2023年9月
意義・目的： 脳室ドレナージ術は、緊急、予定手術問わず施行される手技であり、広い世代の脳神経外科医が安全に施行できることが望ましい手術です。一般的には頭蓋骨を穿頭（小さく穴をあける）し、チューブを通してきますが、どこに穿頭を行うかについては海外からの報告が元になっており、基準には幅があります。また、どの程度の長さの穿刺が安全かについては、目安はありますが研究報告はありません。本研究では、CTの画像を解析することでより安全な基準を検討します。
方法： 本研究は後ろ向き研究であり、患者さんへの侵襲はありません。過去に撮影したCTを利用して、解析ソフト上で仮想の穿刺長や穿刺位置などを計測します。画像に含まれる個人情報はずべて含まれないように解析、報告を行うため、患者個人が特定される事はありません。情報については、研究責任者が責任をもって厳重に保管します。なお、過去の頭部CT画像をこの研究に利用されることを希望されない場合には、下記の問い合わせ先にご連絡ください。その患者様の情報は利用いたしません。その場合でも診療上の不利益が生じることはありません。保管するデータについては研究終了後5年後にはデータを全て廃棄いたします。
問い合わせ等の連絡先 筑波メディカルセンター病院 脳神経外科 烏谷一帆（代表番号 029-851-3511）